

第2回男鹿市地域公共交通活性化協議会会議録

日時： 令和7年1月10日 午前10時30分

場所： 男鹿市役所5階 大会議室

第2回男鹿市地域公共交通活性化協議会

令和7年1月10日 午前10時30分

出席委員（18人）

1号委員 松原 裕幸

4号委員 金沢 勝義 敦賀 文雄 平賀 信一

5号委員 三浦 達也 秋山 順藏 敦賀 強 高野 進 高桑 和雄

村井 一仁 高橋 郁雄 松井 等 關 耕造 江島 昭光

石川 雅子

6号委員 日野 智

7号委員 佐藤 博 三浦 昇

代理出席（4人）

（委員名） （代理名）

2号委員 小野寺 智康 佐藤 大輝

4号委員 佐々木 琢 太田 洋平

4号委員 尾上 さやか 小田原 博

4号委員 浮田 忠勝 橋本 砂絵子

欠席委員（3人）

3号委員 高橋 寿

4号委員 玉尾 毅 武内 信彦

出席事務局職員

総務企画部長 鈴木 健

企画政策課長 高桑 淳

企画政策課主幹 清水 幸子

企画政策課 齊藤 廣俊

令和6年度第2回

男鹿市地域公共交通活性化協議会総会

日時 令和7年1月10日（金）
10時30分より
場所 男鹿市役所5階 大会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 議事録署名委員の選任について
- (2) 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の評価について
(資料1)

3. 報 告

- (1) スクールバス混乗の利用状況について（資料2）
- (2) 男鹿半島線（茶臼峠）通行規制の解除について（資料3）
- (3) 運行車両の増車について（資料4）

4. その他

- (1) 今後のスケジュールについて

5. 閉 会

(午前 10 時 30 分開会)

○ 事務局 (高桑)

皆さま、あけましておめでとうございます。ただいまから、令和 6 年度第 2 回男鹿市地域公共交通活性化協議会総会を開催いたします。開会にあたりまして、資料のご確認をお願いいたします。担当から確認させます。

○ 事務局 (齊藤)

本日お手元には、次第、委員名簿、議案資料 1、報告資料 1、2、3 を配布しております。内容につきましては議事の中で改めてご説明いたします。落丁等ございましたら、お申し出ください。

○ 事務局 (高桑)

それでは、次第により進めさせていただきます。ここからの議事進行につきましては、会議規則により、日野会長よりお願いいたします。

○ 日野会長

それでは、議事を進めてまいります。まず、議事(1)でございます。協議会規約の規定により、2名の議事録署名委員を選任することとなっております。選任方法について、いかがいたしましょうか。特に無いようであれば、事務局から案などございますか。

○ 事務局 (高桑)

それでは、事務局からご提案申し上げます。秋田観光バスの敦賀委員と椿地区六部落会長会の秋山委員を推薦したいと思っております。

○ 日野会長

事務局より秋田観光バスの敦賀委員と椿地区六部落会長会の秋山委員を推薦する声がありましたので、ここでお諮りいたします。両名を議事録署名委員とすることにご異議ございませんか。

～異議なしの声～

○ 日野会長

異議がないようですので、議事録署名委員は、秋田観光バスの敦賀委員と椿地区六部落会長会の秋山委員に決定いたしました。よろしく申し上げます。

○ 日野会長

次に、議事(2)、「令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業の評価について」に移ります。事務局から説明願います。

○ 事務局（齊藤）

資料1に沿って説明いたします。令和6年度の地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について説明させていただきます。男鹿市の公共交通は国の補助を受けており、その補助制度の基準の中で自己評価をする定めとなっております。

本市では、地域間交通ネットワークである JR 男鹿線に接続している、男鹿北線、船越線、男鹿南線、五里合線、潟西線の5系統が対象となり、資料1-1及び1-2のとおり国から示された様式に合わせ作成しております。

1-1及び1-2については、事前に各委員の皆さまに送付し、お目通し頂いているかと思っておりますので、本日は1-3について説明いたします。1-3では、国に対して報告する内容の概要となります。

男鹿北線は、JR 男鹿駅を出発し、羽立駅前や北浦地区、温泉郷経由で男鹿水族館まで向かう路線となります。令和6年度は、あじさいの季節である6月及び7月に観光利用を目的に、期間限定で一部の便、土日祝日運休を取り止め、利便性を図りました。こういった利便性向上を図った結果、目標値に対して122.2%と唯一目標を達成した路線となります。

船越線は、JR 船越駅前から JR 脇本駅など脇本地区を通りみなと市民病院まで向かう路線です。JR 男鹿線及び接続する路線バスとの円滑な乗継ぎを維持したダイヤ編成を行うなど、利用促進を図りました。目標には達成しなかったものの、前年比としては、輸送人員は10.3%上がっております。

男鹿南線は、みなと市民病院を出発後、男鹿駅前を経由し、門前地区まで向かう路線です。地元の人のみならず観光客にも多く利用されております。南線沿線だけではありませんが、令和6年度は、男鹿市内のバス停の盤面について「なまはげ」をイラスト化したことなど観光客にも好評を得て、一定の成果があったと思っております。

五里合線は、男鹿梨で有名な中石から JR 脇本駅前を経由してみなと市民病院まで向かう路線です。目標にも届かず、前年比マイナス13.9%と人口減少に伴い、乗客減の影響が大きいと捉えております。今後は、路線バスを大型商業施設へ乗り入れることなどで利用促進を図っていきたいと考えております。

潟西線は、三種町と隣接する付近の若美地域から JR 船越駅まで向かう路線です。この路線においても、船越駅から延伸して大型商業施設への乗り入れることなどで買い物を目的とした乗客の利用促進を図っていきたいと考えております。

全体としては、目標値に対して100%以上を達成した路線は1路線ですが、前年比で1.2%アップという結果になっており、JR 男鹿線及び接続する路線バスとの円滑な乗継ぎを維持しつつ、観光利用も視野に入れたダイヤ編成や、バス路線のPRを行い、引き続き、利用促進を図りたいと考えております。

○ 日野会長

ただいま、事務局から説明がありましたが、質問や意見はございませんでしょうか。

- 日野会長
私から確認です。資料 1-1 内の目標達成状況において、目標には達しないものの B, C 評価で昨年度に比べて利用は伸びているとの記載が確認できます。評価は、昨年度と同じように B, C の評価だったという理解でよろしいですか。
- 事務局（齊藤）
五里合線のみ B から C に落ちています。他の評価は同じです。
- 日野会長
もう一点、五里合線のみ昨年度よりも利用者が減少しているという理解でよろしいですか。理由として人口減少が挙げられておりますが、どれくらい減っていますか。五里合地区の人口減少割合が、他の地区よりも高いと感じ取れます。
- 事務局（齊藤）
人口減少が利用減の一つの理由ではありますが、例えば男鹿北線など利用が増加している路線に接続している路線については、人口が減少している地域においても利用が伸びている路線もあります。
- 日野会長
そうすると、資料 1-1 に記載しているとおりの「沿線地域である五里合・脇本地区の急速な少子化と人口減による影響が強い。」と言い切ってしまうと矛盾が生じるように感じます。他よりも人口減少が進んだ理由で、利用者が減少したという説明に取れます。
- 事務局（高桑）
人口減少については、五里合地区に限ったことではなく、男鹿市の場合は全体的に進んでいるというのが実態で、皆さまご承知と思います。北部については、観光拠点多数あるので、男鹿北線については、観光客の利用増加がある程度要因としてあると考えられます。船越線は、高校や大型商業施設もあるので、そういった利用が見込めます。男鹿南線は、船川にある高校や鶴ノ崎等の観光スポットに乗入れなどがあります。五里合線に話を戻すと、学校も今はございませんし、大型商業施設もないことから人口減の影響を顕著に受けていると捉えております。
- 日野会長
そういう意味であれば、この資料内人口減の記載箇所は、単に「人口減」と記載してしまうと色々考えていることが伝わらないと思うので文言の修正を検討してください。
- 事務局（高桑）
分かりました。ご指摘頂いた部分を加筆して、資料を整えていきます。
- 日野会長

はい。よろしく申し上げます。それでは、「令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の評価について」は、一部事務局で文言の修正をしていただくとして、本案にご異議はございませんか。

～異議なしの声～

○ 事務局（高桑）

文言の修正の件ですが、こちらで修正したのち会長に確認依頼したいと考えております。

○ 日野会長

はい。承知しました。

○ 日野会長

次に進みまして、次第の3、報告に移ります。報告(1)、「スクールバス混乗の利用状況について」に移ります。事務局から説明願います。

○ 事務局（齊藤）

資料2に沿って説明いたします。令和5年度より男鹿北線スクールバスに登録制で一般の方も乗車できる取組を実施しております。なかなか実績に結びつかず、資料のとおり今年の9月に、従来の事前予約制を不要にして、利用しやすいように努めましたが、実績はいまだありません。登録されている方は6名おり、その方々に状況を伺ったところ、「子どもと一緒に乗ることに気が引ける。子どもたちの空間と一緒にいることによって、子供たちが嫌な想いになるのでは」と考えている方が多くいらっしゃいました。実施してから今年度でちょうど2年を迎えることになりましたが、地域住民の移動手段としての選択肢を考えると、もう少し継続していきたいと考えております。次年度は、一度、市職員と一緒に乗る体験乗車を実施するなど、使ってもらえる取組を検討していきます。

○ 日野会長

ただいま、事務局から説明がありましたが、質問や意見はございませんでしょうか。

○ 東北運輸局秋田運輸支局 松原氏

乗っている生徒は、小学生でしょうか。中学生でしょうか。また、空席はどれくらいあるのでしょうか。

○ 事務局（高桑）

現在運行しているスクールバスは、中学生が乗車しています。空席は5～6席ほどです。

- 東北運輸局秋田運輸支局 松原氏
分かりました。思春期である中学生が乗車していると、一般の方は「気が引ける」というふうに思われるかもしれませんね。
- 事務局（高桑）
はい。利用登録されている方の話を聴くと、気を遣ってしまうという声が聞かれます。一方、せっかく運行しておりますので、一度乗車して雰囲気味わってもらおう体験乗車等の取組を実施したいと考えております。
- 男鹿市 PTA 連合会 石川さん
来年度、スクールバスは小、中学生と一緒に乗車することになります。入道崎が始発なので、近所の登録されている方の話を聴くことがあります。自分の地区の子どもたちだけであれば気兼ねなく乗ることができるかと聴きますが、他の地区の子どもたちも一緒に乗ったり、また部活などで荷物が多くなる子どもたちがいたりすると席を譲ってあげたいという人もいますので、そういうところで遠慮してしまうのかなという印象です。
- 事務局（高桑）
貴重なご意見ありがとうございます。今後の取組の参考にさせていただきます。
- 日野会長
登録者の方に聴いてもらって利用されない理由は、「気が引ける」ということですが、もしもそれが無ければ、利用されるということですか。
- 事務局（高桑）
現在、入道崎地区・西黒沢地区の方は入道崎線を利用されておまして、男鹿温泉郷で男鹿北線に接続し、乗継が1回発生します。スクールバスの混乗をスタートした理由は「乗継ぎが大変」という声もあったことから、スクールバスであれば乗継ぎをせずに船川地区まで行くことが可能であるため始めた取組でございます。
登録者の中には、乗継ぎは「もう慣れた」と仰る方もおりますが、乗継ぎが無いスクールバスが便利と考えておりますので、利用に結びつけられればと思っております。
- 日野会長
分かりました。もしかすると、体験乗車を実施した際に、今後も「やっぱり利用しない」という意見があるかもしれませんが、雰囲気味わってもらう機会として実施して欲しいです。
- 日野会長
他に、質問や意見はございませんでしょうか。

- 日野会長
無いようですので、それでは、「(3) 男鹿半島線（茶臼峠）通行規制の解除について」に移ります。事務局から説明願います。
- 事務局（齊藤）
本日令和7年1月10日（金）午後1時から、茶臼峠の通行止めが解除となります。迂回運行していた路線バスは、1月11日（土）から、茶臼峠を経由する通常運行となります。現在、臨時で移設しているバス停「餅ヶ沢」については、「以前よりも便利になった」「今の位置に常設して欲しい」という声があることから、常設に向けて秋田運輸支局に相談しながら、手続きを進めていきます。
- 日野会長
ただいま、事務局から説明がありましたが、質問や意見はございませんでしょうか。
- 日野会長
無いようですので、それでは、報告事項であります。「報告(3) 運行車両の増車について」に移ります。事務局から説明願います。
- 事務局（齊藤）
資料4について説明いたします。浮田産業交通より、長年使用してきた車両を鑑み、新たに乗合事業の車両を増やしたいという連絡がありました。この点について、浮田産業交通さんから補足説明があればお願いします。
- 浮田産業交通株式会社北浦営業所 橋本氏
路線バスの増車について説明します。路線バスの老朽化が進み、たびたび故障なども散見されるようになってきましたので、新型バスを導入し輸送の安全と利便性の確保に努めるために増車するに至りました。車両は、乗車定員55名、中型のノンステップバス。男鹿市とも相談し、多言語表記にも対応した車両で、これから男鹿北線で使用していく車両です。よろしくお願いします。
- 日野会長
ただいま、説明がありましたが、質問や意見はございませんでしょうか。
- 東北運輸局秋田運輸支局 松原氏
今回増車されたISUZU ERGAは、乗合におけるバリアフリー等の基準をクリアしたものと認識してよろしいでしょうか。
- 浮田産業交通株式会社北浦営業所 橋本氏
はい、秋田運輸支局に対しても既に報告しており、基準をクリアした内容となって

おります。

- 東北運輸局秋田運輸支局 松原氏
分かりました。ありがとうございます。
- 日野会長
他にご質問がないようですので、本件は以上といたします。
- 日野会長
次に、今後のスケジュールについて事務局より説明願います。
- 事務局（齊藤）
お忙しいところ大変恐縮ですが、来月、再度協議会を開催する予定でおります。現行の路線バスの基本契約が本年度最終年度ということで、事業者の皆様には、すでにお知らせしておりますが、次年度以降の契約について今月下旬にプロポーザルを実施致します。その結果を踏まえて、来年度の公共交通の新たな取組などをご協議したいと考えております。また、本日報告事項にもありました、スクールバスの運行事業者の変更による住民混乗に係る手続きについても協議会での合意が必要でございますので、この点についても併せてお諮りしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
- 日野会長
ただいま説明がありましたが、質問などはございませんでしょうか。
- 日野会長
予定された議事は終了いたしました。せっかくの機会です、公共交通に関して何かご質問やご意見はございませんか。
- 船越振興会 会長 松井 等
船越地区にある三十五番タクシーさんですけれど、経営を他の事業者に譲渡したという話を耳にしましたが、分かっている範囲で説明してくれませんか。
- 事務局（高桑）
私達としても、事業譲渡については新聞報道であった情報しか持ち合わせておりません。事業譲渡の手続き等についてはこの協議会では必要なことはありません。秋田運輸支局さんで本件の手続きについてお話できませんか。
- 東北運輸局秋田運輸支局 松原氏
私が在籍している部署は、事業承継を担当している部署ではないので、詳細は分かり兼ねますが然るべき手続きは行っているということで問題ないと思います。

○ 船越振興会 会長 松井 等
分かりました。

○ 日野会長

それでは、以上をもちまして、本日の議事日程を終了いたします。委員の皆さまにおかれましては、円滑な進行に御協力くださいます、ありがとうございました。

終了時間： 11時03分